



基盤教育

ワークショップ

学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員および「FDネットワーク」つばさ」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

9/2 水

時間 10:00 - 16:30 場所 山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館
(山形市小白川町 1-4-12)

9:00 受付

10:00 開会 司会 山形大学教育開発連携支援センター 教授 小田 隆 治
挨拶 山形大学教育開発連携支援センター長 須賀 一 好

10:10 【第1部】基調講演 (90分)



演題

「高大接続システム改革の動向と課題

～新テストへの円滑な移行に向けて～」

講師

独立行政法人大学入試センター副所長
(試験・研究統括官／教授)

大塚 雄 作 氏

11:40 質疑応答

12:00 昼食・休憩

13:30 【第2部】ラウンドテーブル (180分)



第1分科会

「地域連携とFD」

コーディネーター 山形大学理学部 教授
栗 山 恭 直

パネリスト

東北文教大学短期大学部 人間福祉学科 准教授 横 尾 成 美

山形大学教育開発 連携支援センター 講師 呉 屋 淳 子

山形大学教育・学生支援部 准教授 滝 澤 匡



第2分科会

「教養教育の未来

～学生の「新たな教養」獲得のために～」

コーディネーター 山形大学基盤教育院 教授
千 代 勝 実

パネリスト

山形大学教育開発 連携支援センター 講師 橋 爪 孝 夫

山形大学基盤教育院 准教授 安 田 淳 一 郎



第3分科会

「これからのインターンシップの在り方

～教育過程にどう位置づけるか?～」

コーディネーター 山形大学小白川キャリア サポートセンター 准教授
松 坂 暢 浩

パネリスト

山形大学理学部 教授 小 倉 泰 憲

山形大学実践教育プログラム 推進センター 講師 栗 野 武 文

16:30



地域に根ざし、世界を目指す
国立大学法人 山形大学

主催／山形大学教育開発連携支援センター

基調講演内容

演題

「高大接続システム改革の動向と課題

～新テストへの円滑な移行に向けて～

講師

独立行政法人大学入試センター 副所長(試験・研究統括官/教授) 大塚雄作氏

昨年末に中央教育審議会から出された「高大接続答申」に沿って、高大接続システム改革会議の下、高校教育、大学教育、そして、大学入試の一体的改革に関する議論が進められ、社会的にも大きな関心事となっている。ここでは、高大接続システム改革の動向をレビューすると共に、主として新テストの開発に焦点を当て、今後の改革の方向性と課題について紹介することとしたい。それを通して、基盤教育を含む大学教育の視点から、改めて大学入試のあり方について共に考えてみる機会としたい。

ラウンドテーブル概要

第1分科会 「地域連携とFD」

コーディネーター 山形大学理学部 教授 栗山恭直

現在、日本中の大学で地域と連携して様々な活動を行っている。特にCOCあるいはCOC+の採択により、学生が地域で学習し、同時に地域の活性化を提案している。

学生が正課あるいは正課外で活動を行うには、教員の役割は非常に大切であり、地域に丸投げでは大学教育ではなくなってしまう。今回、FDの観点も加えて地域連携の活動を紹介し情報共有をする。

第2分科会 「教養教育の未来～学生の「新たな教養」獲得のために～」

コーディネーター 山形大学基盤教育院 教授 千代勝実

初年次教育としての教養教育を取り巻く環境は、いわゆる「パンキョウ」と呼ばれていた時代から激変しており、学問知・技法知・実践知を踏まえた体系的な学びに根差す「新たな教養」の教育が期待されています。しかし、具体的な教育内容は依然として個々の大学教員に丸投げされており、まさに困惑の海に教員が漂流しています。このような状況を乗り越えるために、山形大学基盤教育院での教育や評価の具体的な実践紹介をもとに「何を実施し何を止めていいのか」という発想を手掛かりに教養教育の確かな未来を考えたいと思います。

第3分科会 「これからのインターンシップの在り方～教育過程にどう位置づけるか?～」

コーディネーター 山形大学小白川キャリアサポートセンター 准教授 松坂暢浩

現在、就職活動の後ろ倒しや学生のキャリア形成の観点から、「インターンシップ」のさらなる推進が望まれている。「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(平成26年、文科省・経産省・厚労省)において、「インターンシップ」は大学の教育の一環として位置付けられ得るものであり、大学等が積極的に関与することが必要であると指摘している。

また、様々な報告書等において、インターンシップの在り方として、中長期型や早期(低学年次)からのインターンシップ導入等の有効性について指摘されている。しかし、大学教育のなかで、どのように位置づけていくべきかについては、まだ課題があると言える。

そこで本分科会では、教育課程に位置づける上での課題と方策について議論していきたい。

氏名、所属、職名、電話番号、E-mailアドレスを明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

参加申込み
方法

FAX

023-628-4720

E-mail

k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込締切

8月21日(金)

お問合せ先

山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL. 023-628-4720 FAX. 023-628-4720

E-mail : k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http : //www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kaizen/ksite/

氏 名				TEL	
所属・職名					
E-mail					
参加希望 分科会	第1分科会	・	第2分科会	・	第3分科会

※参加希望の分科会に○をつけてください。